

## 世界を変える人材育成入試 ～ロジカル・フラワー・チャート入試～

日本語  
基準

優秀者  
奨学金

併願  
可

詳しくは、入学試験要項で  
確認してください。

### 趣 旨

自分なりの「問い」を立て、自分なりの「方法」で、自分なりの「答え（最適解）」を見つける力（探究型の資質や能力）を評価します。入学後の学修について自分なりの目標を掲げ、より良い世界の実現に向かって他者とともに取り組むことのできるみなさんの入学を期待しています。

### 選考方法

#### ■第1次選考

出願書類による審査 +

#### 筆記試験／オンライン

与えられた資料から、自分なりの「問い」を立て、自分なりの答え（仮説）を設定した上で、設問に解答（試験時間120分）

第1次選考  
合格者

#### ■第2次（最終）選考

個人面接／オンライン（約20分）  
（口頭試問を含む）

#### ❗ 選考・評価のポイント

- （出願書類）
- 志望学部への興味・関心
  - 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力
- （筆記試験）
- 着眼点や読解力、発想力、論理性などを踏まえた探究的な物の見方や考え方の基礎的素養 など

#### ❗ 選考・評価のポイント

- 出願書類と筆記試験の解答内容に基づく質疑応答
- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや、探究的な物の見方や考え方 など

### 出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考		第2次（最終）選考	合格発表日	
		試験日	結果通知日	試験日*		
第1回	2022年 9月1日(木)～ 9月14日(水)	10月2日(日)	10月14日(金)	10月22日(土)または 10月23日(日)	11月1日(火)	※アジア 太平洋学部/ 国際経営学部 のみ対象
第2回	2022年 10月6日(木)～ 10月19日(水)	11月6日(日)	11月18日(金)	11月26日(土)または 11月27日(日)	12月13日(火)	
第3回	2022年 10月27日(木)～ 11月9日(水)	11月27日(日)	12月9日(金)	12月17日(土)または 12月18日(日)	2023年 1月10日(火)	
第4回	2023年 2月1日(水)～ 2月14日(火)	3月5日(日) 第1次選考・第2次選考を同日に実施			2023年 3月17日(金)	

\*第2次（最終）選考の試験日は、本学が指定します。  
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。  
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます（同日実施の方式でも併願できます）。

### 出願資格

※詳しくは、  
入学試験要項で  
確認してください。

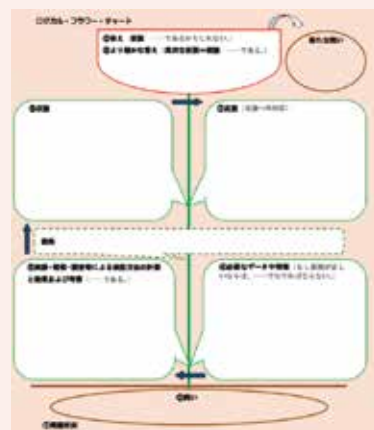
次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業または2023年3月31日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

## ロジカル・フラワー・チャートとは？

考えるべき問題を見つけ、その問題がなぜ起きているのか（どうすれば解決できるのか）について仮説を立て、その仮説が正しいかどうか、誰もが理解できるような方法で論証・検証し、結論を導くという探究的なプロセスをモデル化したものです。そのプロセスを図式化すると、右の図のような花の形になるため、「ロジカル・フラワー・チャート」と呼ばれます。

ロジカル・フラワー・チャートに関する  
詳細な説明はこちら

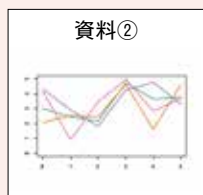
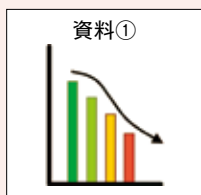


## 筆記試験は具体的にはどんな試験？

皆さんが高校で取り組まれている「探究学習」のように、自分で「問い」を立て、その問いに対する答えを導き出すためには、どのようなデータや調査をする必要があるかということについて答えて頂く試験です。

### 1 「問い」を立てる

最初に複数の資料（下記のように文章や図表、写真等を提示しますが、試験回により資料数や種類は変わります）を関連付けて、自分なりの「問い」を立てます。



資料⑤

---



---



---



---



---

### 2 「問い」の社会的意義を考える

上記で設定した「問い」の答えを導き出すことが、どのように社会に役に立つと思われるのか、また社会的にどのような価値があるのかを考えてください。

### 3 「問い」に対する自分なりの答えを考える

設定した「問い」に対して、自分なりの答えを記述してください。

### 4 その答えを証明するために、どのようなデータや調査が必要かを考える

あなたの答えを証明するために、どのようなデータや調査結果が必要であるかを具体的に記述してください。またそのようなデータや調査結果を得るためには、具体的にどのような実験や調査を行う必要があるかを記述してください。

### 5 1～4を計画書としてまとめる

「問い」、「問い」の社会的な意義、自分なりの答え、必要な情報や調査等を踏まえ、あなたがこの「問い」について論文を作成するとした場合の計画書（論文・レポートで序論にあたる文章）を作成してください。

## この方式の対策は？

- 本学では、大学受験時点でロジカル・フラワー・チャートの全てを完全な形で作成できるところまでは求めていません。ロジカル・フラワー・チャートを活用して探求的な学びの基礎を身につけていれば、大学入学後の学びの質が高まることを期待しています。したがって、受験生サイトAPUmatelに記載している「解答のポイント」を参考にして、

まずは

- ① 社会的に価値のある「問い」を立てること
- ② その「問い」に対応した仮説を筋道立てて説明できる練習をすることが必要です。

また、普段から身の周りの出来事に関心を持ち、「Why」をキーワードに「問い」を立てる練習を心掛けましょう。



解答のポイントの詳細はこちら